

# 修学資金と義務年限

## 修学資金貸与制度

授業料等の修学に要する経費は全額貸与され、卒業後は、知事の指定する島しょ・へき地等の医療機関に、大学在学期間の1.5倍の期間（義務年限期間）勤務することにより、その返還を免除します。

**\*東京都の島しょ・へき地**  
 大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・小笠原諸島（父島・母島）  
 奥多摩町・檜原村



裏表紙には、島しょ地域で活躍している卒業生から皆さんへのメッセージがあります！

# ～卒業生からのメッセージ～

## 戸田 美波

新島村式根島診療所  
 出身校：国立お茶の水女子大学附属高校



私は18歳の頃、「病に苦しむ人の力になれる生き方がしたい」という漠然とした夢を抱いて医師の道を志し自治医科大学の門戸を叩きました。現在、伊豆諸島の式根島診療所では、かかりつけ医として全科にわたる診療に従事しています。日々患者さんに寄り添い、あらゆる相談事に対応しています。担う責任も大きいですが、それ以上のやりがいを感じる仕事です。一般の病院勤務よりも、はるかに患者さんが身近で、「疾患」だけでなく、患者さんを取り巻く様々な生活背景までアプローチした全人的医療を展開することができます。人と人の繋がりを体感しながら、患者さんに学ばせて頂いています。学校医や園医、特別養護老人ホームの嘱託医等を兼任しており、地域社会の保健福祉に携わる機会が豊富です。式根島診療所には医師は一人しかいません。時には悩んだり、課題にぶつかったりすることもあります。同じ自治医大の卒業医師同士や都内医療機関との協力体制の下、いつでも相談できる環境ですので、孤独を感じることはありません。



野鳥の愛らしいさえずりを聞きながら美しい浜辺を散歩したり、採れたての美味しい海産物が味わえたりと、都会にはない豊かな自然を満喫することもできます。自治医科大学で学び、地域医療を担う医師として働くことは、皆さんにとってきっと貴重な人生の糧になると思います。

## 納屋 樹

小笠原村診療所  
 出身校：私立早稲田高校



現在私は医師5年目、小笠原諸島・父島の診療所に勤務して2年目になります。父島は竹芝桟橋から6日に1回の定期船おがさわら丸に乗って24時間の超遠隔離島です。父島の診療所は島内唯一の医療機関で約2200人の島民の健康を支えています。医師3人体制、そのうち自治医大卒業医師は私1人です。世界遺産の壮大な自然の中で自らも生活をしながら、地域に根ざした医療を実践しています。

私達の診療は定期外来から、妊婦・乳幼児健診、在宅医療や緩和医療、そして死体検案まで非常に幅広い分野を担っています。時には観光客や周辺航行中の船舶の急病にも対応します。救急患者が発生した場合は必要に応じて連携都立病院へ緊急航空機搬送を行います。伴う責任は大きいですが、大きなやりがいを感じています。

医師も患者も専門志向の強い昨今ですが、島内唯一の医療機関では「専門外だから診れない」というのは通用しません。全科横断的な知識と全人的な医療が求められます。目の前の困っている方へ手を差し伸べるといことは、知識や技術が進歩した現在でも医療の原点とも言うべきものではないでしょうか。目の前の患者さんに真剣に向き合う、島での医療は現代で忘れられがちな大切なものを教えてくれます。

離島で働くことに制約はありますが大変なことばかりではありません。豊かな緑と新鮮な空気に囲まれていますし、海にはイルカやクジラがいます。地域の祭りや運動会に参加して島民の方との交流を深める機会も多いです。自治医大東京都の卒業生は義務終了後も定期的集まり後輩をサポートしてくれるので、離島診療やあるいは将来の専門医取得に関しても相談に乗ってくれます。将来その一員として皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



※勤務先は平成29年8月時点のものです。

## 卒業後の勤務

卒業後は、都職員として採用され、臨床研修修了後、へき地公立診療所等への派遣勤務に従事するとともに、都立病院等において専門研修を実施します。

東京都出身の卒業生は、専門研修でスキルアップしながら、へき地の診療所において頼りになる総合診療医として活躍しています。

◀義務年限期間勤務の一例▶

区分	内容	年次								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
臨床研修 (2年)	都立広尾病院、都立多摩総合医療センター、都立墨東病院において基本研修科目（内科、外科、救急部門）、必修科目（小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療※）を中心に、島しょ・へき地医療に必要な技術を習得する。 ※地域保健・医療研修は2年次に島しょ診療所等において実施		2年							
へき地勤務 (4年6か月)	島しょ・山間へき地の公立診療所等に、原則として、合計4年間の長期派遣勤務に従事するとともに、合計6か月程度の臨時派遣勤務に従事する。			臨時		2年		臨時		臨時
専門研修等 (2年6か月)	原則として、3年次及びへき地勤務を行っていない期間、都立病院等に勤務し、専門研修等を行う。 ※合計1年6か月程度				1年				※	※



# 地域医療を志す人たちへ 東京都版 自治医科大学 医学部案内



医療政策部医療人材課人材計画担当  
 (電話)03-5320-4441  
 (Eメール)S0000297@section.metro.tokyo.jp

◆東京都の自治医科大学情報⇒



# 自治医科大学概要



自治医科大学は、島しょやへき地等に勤務する医師を養成するため、全国の都道府県が共同して、昭和47年に設立した大学です。

毎年、各都道府県から、2～3名が選抜され入学します。全寮制となっており、在学6

年間は、他の道府県からの学生と共に生活し、自律協調の精神と責任感を身につけます。

卒業後は、東京都職員として、義務年限の期間勤務します。(通常9年)



- 所在地  
栃木県下野市薬師寺3311-1
- 交通アクセス  
JR宇都宮線「自治医大駅」下車 徒歩15分  
「自治医大駅」まで  
新宿駅・上野駅から約1時間30分
- 問合せ先  
自治医科大学学事課入試広報係  
Tel : 0285-58-7045

医学部教育・研究棟



大教室



実習室



1. 医学部教育・研究棟
2. 大学本館および附属病院
3. 創立20周年記念棟
4. ともぎ子ども医療センター
5. 看護学部
6. 地域医療情報研修センター
7. 実験医学センター
8. 先端医療技術開発センター
9. 医学部学生寮
10. 学生会館・学生食堂
11. 健診センター
12. Jアラザ
13. 体育館・プール
14. 看護学部学生寮・看護師宿舎
15. レジデントハウス

実習風景



学生寮全景



# 自治医大の魅力

## 1 医師国家試験合格率全国第1位!

第111回(平成29年)医師国家試験での合格率は100%で、5年連続全国第1位でした。

これらは、3年生までの実習を中心とした基礎固め、4年生からのBSLに力を入れた臨床重視の教育、6年生での手厚い国家試験対策など、特色あるカリキュラムにより実現されています。

## 2 全寮制!

6年間の学生生活を寮(個室)で過ごします。キャンパス内にあるので通学も便利。セキュリティもプライバシー保護も万全。部屋を出ると広々としたラウンジや和室などもあり、たくさんの仲間と交流を図ることができ、医師に欠かせないコミュニケーション能力を養うことができます。



## 3 クラブ活動が活発!

多くのクラブが積極的に活動しています。複数クラブに入っている学生も少なくありません。東日本医科学学生総合体育大会でも、毎年多くのクラブが入賞しています。勉強とクラブ活動を両立させた密度の濃い充実した毎日を送ることができます。

## 4 都(県)人会!

出身地が同じ学生は、卒業後に地元の地域医療と一緒に支えることになる存在。そうした絆を在学中から深めるために作られた会で全員が所属します。夏休みは、メンバーと地元に戻り、へき地等医療の理解やへき地等医療機関で働く医師やスタッフとの交流を深めるため、医療体験実習、研修会等を行っています。



来たれ! 後輩たち

～在学生からのメッセージ～



### ◎自治医大のいいところ◎

自治医大のいいところは、入学と同時に全国に友達ができること! このつながりは、卒業後も続きます。災害時には全国から自治医大ネットワークで医師が集まることもあります。在学中に感じる自治医大のいいところは、友達や先輩後輩との距離が近いこと! 寮生活なので、自立した生活をしながらも、困った時、相談したい時、体調が悪い時、お互い様で支え合う習慣が自然と身につきます。



### ◎都人会のいいところ◎

都人会はいわば、運命共同体!! 現役の医師の先生から医学生まで、一丸となって地域医療に貢献しようと邁進しています。都人会のいいところは、たくさんありますが、一番感じるの、一人一人が強い意志や目標を持っているところです。医療といっても様々な形があるので、ちょっとしたお話からでもいい刺激をいただいたり、勇気をもらったりしています。



### ◎受験生へアドバイス◎

自治医大は倍率が高く、合格に現実味がなかったため、逆に気張らずにリラックスして、対策、受験をしました。結果、それがプラスに働いて合格を勝ち取れたのだと思います。対策としては、問題傾向に慣れるために過去問をやっておくことが合格への最短ルートです!

### ◎受験生へアドバイス◎

医学部対策が十分にできる高校には通ってなかったため、自力で情報を集め、量、質ともに高レベルな勉強ができるように、常に自分を省みながら勉強をするように意識していました! 受験生活は辛いと思いますが、合格目指して頑張ってください!!